

める妹に出しているなどと書いておられたその新聞記事などもお目にかけてので、非常に驚かれたのでした。そして百回目の卓話は東京ロータリークラブ、九十九回目は大阪南ロータリークラブで卓話させていただくようにとお願ひしたのを快くご承諾していただいたのでした。誠にこうも不思議なご縁があるものかと思つたのでした。なお九百九十九回目もこの南クラブで卓話させていただいたのです。

卓話回数千回目、これは新田先生のお世話で、東京ロータリークラブで卓話させていただくことになつたのです。それでそのとき、九百九十八回目は平井さんにお願ひして大阪南ロータリークラブで、九百九十九回目は中根式速記協会顧問の李家 孝さんにお願ひして横浜ロータリークラブで、千回目は東京ロータリークラブと思ひ、それぞれお願ひして決まつていたのでした。ところが残念なことに東京ロータリークラブが何かの突発的な重要なことができず、卓話が延期になつたのでした。それで仕方がないので九百九十九回目を大阪南で、千回目を横浜でということにして卓話したのでした。卓話回数は今二千回を越え回数が多い点では世界記録といわれながら卓話を続けているのです。

全国のロータリアンが見られる「ロータリーの友」誌には三回、東京ロータリークラブの「手に手つないで」誌には五回も掲載されているのですが、ロータリークラブの卓話については、経済的にはいつも赤